

2022年3月4日

「原子力に関わる人文・社会科学的総合知問題」研究専門委員会の設立について

一般社団法人日本原子力学会
社会・環境部会

1. 設立趣旨

日本原子力学会では、原子力の平和利用をめざす学会として、研究部門の一つとして社会・環境部会（1999年設立）において、人文・社会科学の観点からの研究をおこなっている。

特に、原子力を取り巻く近年の諸課題は、第6期科学技術・イノベーション基本計画に示されるように、政策や法制度、倫理、社会受容などのより俯瞰的な視野で物事を捉え、自然科学のみならず、人文・社会科学も含めた「総合知」を活用できる仕組みを構築しなければならないと考えている。

ついては、「原子力に関わる人文・社会科学的総合知問題」研究専門委員会を設置し、以下の活動計画に従い研究活動を行う。

2. 活動計画

- 原子力をめぐる様々な課題における主要な概念や言葉について整理する。まずはこの再検討を通じて、問題をめぐる課題や枠組みについてより良い解決への対応策を検討する。
- 当初の具体的なテーマは、トリチウム処理水の海洋放出をめぐる「風評」を検討する。この言葉、これをとりまく周辺概念やそれに伴う社会構造や文化、について検討と分析を加える。
- 対象テーマについては検討状況の進展や社会的な状況の変化を踏まえた上で、さらに別のテーマについても順次、手掛けていく。
- 公開シンポジウム、一般市民との議論、ならびに、HP/Facebook を利用した情報公開と議論を進めていく。

2. 設置期間（予定）

2021年4月1日 ～ 2023年3月31日

以上